

# DataCloset-Plus 操作マニュアル — パターン管理編



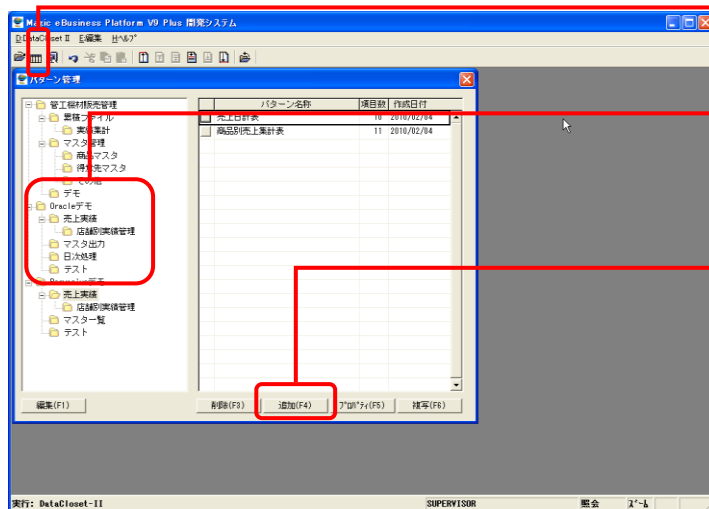
本マニュアルには、しおり(目次)が用意されています。

自動で表示されない場合は、PDF 画面のしおりボタンを押してください。

## 1 パターンを作成する

パターンの作成は、パターン管理メニューから行います。

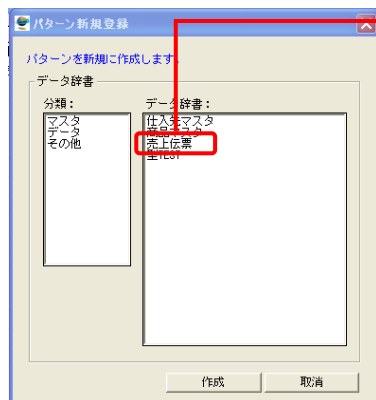
### 1.1 メニューを選択する



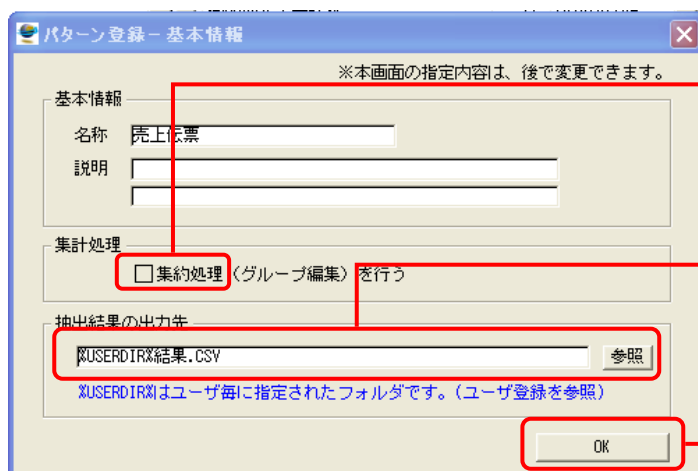
① パターン管理メニューを表示する。

② 新たにパターンを作成するフォルダを選択します。※このフォルダは後で変更も可能です。

③ 追加(F4)ボタンで、パターン新規登録画面を呼び出します。



④ 該当のファイルを選択して、「作成」ボタンを押します。

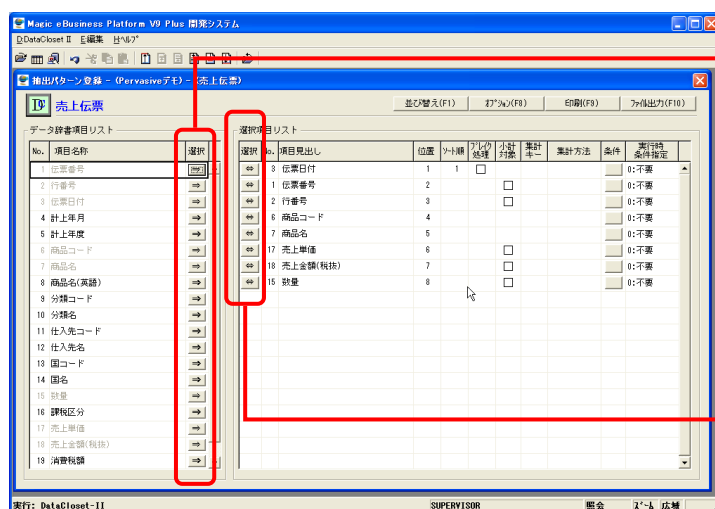


データ抽出時に集計処理を行う場合にチェックします。

抽出結果の出力先を指定します。  
※「%USERDIR%」は、「ユーザ登録」-「基本情報」の「出力先フォルダ」で指定されている内容で置き換えて処理されます。

⑤ オプションを指定して「OK」ボタンを押します。

## 1.2 項目を選択する



データ辞書項目リスト(左部分)には、該当ファイルの項目の一覧が表示されています。項目を選択します。選択された項目は、右の選択項目リストに入ります。

一度選択した項目を対象から外します。項目が反転されて非選択状態になり、さらに、「並び替え(F1)」ボタンを押すことにより、選択項目リストから消去されます。

選択項目リストでは、以下の指定も可能です。

### 項目の出力順を指定する

出力時の項目の並び順を指定します。並び順を入れ替えるには、希望する位置の前の項目の並び順を指定します。

選択	No.	項目見出し	位置	ソート順	アプリの処理	小計対象	集計キー	集計方法	条件	実行時条件指定
⇄	3	伝票日付	1	1	<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	1	伝票番号	2		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	2	行番号	3		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	6	商品コード	4							0:不要
⇄	7	商品名	5							0:不要
⇄	17	売上単価	6		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	18	売上金額(税抜)	7		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	15	数量	5		<input type="checkbox"/>					0:不要

商品名(項目番号=5)の次に移動するために、数量の位置を「5」に変更して、「並び替え(F1)」ボタンを押します。

選択	No.	項目見出し	位置	ソート順	アプリの処理	小計対象	集計キー	集計方法	条件	実行時条件指定
⇄	3	伝票日付	1	1	<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	1	伝票番号	2		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	2	行番号	3		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	6	商品コード	4							0:不要
⇄	7	商品名	5							0:不要
⇄	15	数量	6		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	17	売上単価	7		<input type="checkbox"/>					0:不要
⇄	18	売上金額(税抜)	8		<input type="checkbox"/>					0:不要

数量の位置が「6」になり、商品名の次に移動します。

※位置にゼロを指定した場合は、出力対象から外されます。条件は指定したいが、出力する必要のない項目の場合にゼロを指定します。

### ソート順を指定する

データ出力時のソート順を指定します。

選択	No.	項目見出し	位置	ソート順	アプリの処理	小計対象	集計キー	集計方法	条件	実行時条件指定
⇄	3	伝票日付	1	1	<input checked="" type="checkbox"/>					0:不要
⇄	1	伝票番号	2	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	2	行番号	3	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	6	商品コード	4							0:不要
⇄	7	商品名	5							0:不要
⇄	15	数量	6			<input checked="" type="checkbox"/>				0:不要
⇄	17	売上単価	7			<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	18	売上金額(税抜)	8			<input checked="" type="checkbox"/>				0:不要

ここで指定された項目の内容の昇順にデータが出力されます。

## ブレイクキーを設定する

選択項目リスト										
選択	No.	項目見出し	位置	ソート順	ブレイク 処理	小計 対象	集計 キー	集計方法	条件	実行時 条件指定
⇄	3	伝票日付	1	1	<input checked="" type="checkbox"/>					0:不要
⇄	1	伝票番号	2	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	2	行番号	3	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	6	商品コード	4							0:不要
⇄	7	商品名	5							0:不要
⇄	15	数量	6			<input checked="" type="checkbox"/>				0:不要
⇄	17	売上単価	7			<input type="checkbox"/>				0:不要
⇄	18	売上金額(税抜)	8			<input checked="" type="checkbox"/>				0:不要

チェックされた項目が、ブレイクキーになります。  
ブレイクキーは最大3項目まで指定できます。

### <ブレイクキーとは>

印刷処理では、ソート順で指定された順番でデータを出力します。その過程で、ブレイクキーの値が変わった時にブレイク処理を行います。

- ・ブレイク処理には、グループインディケーション、ブレイク見出し、小計、の3つがあります。
- ・ブレイクキーは最大3項目まで指定できます。
- ・ブレイクキーのソート順の小さい順に、1～3のレベル番号が自動でふられ、それぞれが、見出しレベル1～3や小計レベル1～3に対応します。
- ・最初のデータが出力される前に、全てのレベルの見出し処理が実行されます。
- ・最後のデータが出力された後に、全てのレベルの小計処理が実行され、最後に合計行が出力されます。
- ・上位のレベルのブレイクが発生した場合には、下位のレベルのブレイクも同時に発生します。(上記の例では、伝票番号が変わらなくても、伝票日付が変わった場合には、伝票番号のブレイクも発生したと見なされます。)

### 【グループインディケーションと小計の例】

ILS Co. Ltd.

2010/08/31 17:37 PAGE: 1

売上伝票

伝票日付: 10/01/01 ~ 10/01/15

伝票日付	伝票番号	行番号	商品コード	商品名	数量	売上単価	売上金額(税抜)
10/01/01	00008017	1	F070004	テーブル	1	83,840	83,840
		2	F070011	サイドボード	1	92,800	92,800
		3	N010110	コートフック(シングル)	1	5,800	5,800
		4	N010111	コートフック(ダブル)	1	11,200	11,200
		5	N010112	コートフック(スリ)	1	15,200	15,200
		6	N010113	コートフック(フリース)	1	20,800	20,800
		7	N120025	フック(ローフック、モーター・S)	1	3,380	3,380
		8	P180004	フック(ワイヤー)	1	14,400	14,400
		9	P180008	フック(ワイヤー)	1	15,200	15,200
					9		242,400
	00008018	1	N110031	フック(ワイヤー) ステンレス - (5' x 5' x 20)	1	8,000	8,000
		2	L050042	フック(ワイヤー) (2.35-75)	1	15,200	15,200
					2		21,200

伝票番号が変わった時だけ、伝票番号を表示します。(グループインディケーション)

伝票番号が変わる時に、小計行を出力します。

## 小計を指定する

選択項目リスト										
選択	No.	項目見出し	位置	シート順	ブレイク 処理	小計 対象	集計 キー	集計方法	条件	実行時 条件指定
	3	伝票日付	1	1						0:不要
	1	伝票番号	2	2						0:不要
	2	行番号	3	3						0:不要
	6	商品コード	4							0:不要
	7	商品名	5							0:不要
	15	数量	6							0:不要
	17	売上単価	7							0:不要
	18	売上金額(税抜)	8							0:不要

チェックされた項目が小計の対象となります。

※ここで、チェックされた項目は、全てのレベルの小計が出力されることになります。レベルによって小計の有無を制御する場合は、「ブレイク計」オプションで指定します。

## 集計キーを指定する

選択項目リスト										
選択	No.	項目見出し	位置	シート順	ブレイク処理	小計対象	集計キー	集計方法	条件	実行時条件指定
⇒	13	国コード	1	1	✓		✓			0:不要
⇒	14	国名	2				□			0:不要
⇒	11	仕入先コード	3	2	✓		✓			0:不要
⇒	12	仕入先名	4				□			0:不要
⇒	9	分類コード	5	3	✓		✓			0:不要
⇒	10	分類名	6				□			0:不要
⇒	6	商品コード	7	4	□		✓			0:不要
⇒	7	商品名	8				□			0:不要
⇒	15	数量	9			✓	□	1:合計		0:不要
⇒	17	売上単価	10			□	□	3:平均		0:不要
⇒	18	売上金額(税抜)	11			✓	□	1:合計		0:不要
⇒	4	計上年月	***				□			1:必須

※「基本情報」の「集約処理」オプションが選択されている場合に、この項目が有効になります。

条件に従って抽出されたデータは、ここで指定されたキーで集約されて出力されます。

## 集計方法を指定する

選択項目リスト										
選択	No.	項目見出し	位置	シート順	ブレイク 処理	小計 対象	集計 キー	集計方法	条件	実行時 条件指定
⇄	13	国コード	1	1	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	14	国名	2				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	11	仕入先コード	3	2	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	12	仕入先名	4				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	9	分類コード	5	3	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	10	分類名	6				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	6	商品コード	7	4	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	7	商品名	8				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	15	数量	9			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1:合計	<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	17	売上単価	10			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3:平均	<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	18	売上金額(税抜)	11			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1:合計	<input type="checkbox"/>	0:不要
⇄	4	計上年月	***				<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	1:必須

※「基本情報」の「集約処理」オプションが選択されている場合に、この項目が有効になります。

数値項目に関して、集計の方法を指定できます。集計の方法には、  
1:合計、  
2:最大、  
3:平均、  
4:最小  
の4つがあります。

## 条件を指定する

① 条件の指定方法を選択します。

② 条件の値を指定します。項目が日付型の時は「当日」のチェックボックス、年月型の時は「当月」のチェックボックスの指定も可能です。

条件を複数指定することもできます。複数の条件指定された場合は、いずれかの条件を満たすものが対象になります (OR 条件)。

## 実行時の条件指定の有無を指定する

選択項目リスト									
選択	No.	項目見出し	位置	ソート順	ファイル処理	小計対象	集計キー	集計方法	条件
⇐	3	伝票日付	1	1	<input checked="" type="checkbox"/>				1:必須
⇐	1	伝票番号	2	2	<input checked="" type="checkbox"/>				2:任意
⇐	2	行番号	3	3	<input type="checkbox"/>				0:不要
⇐	6	商品コード	4						0:不要
⇐	7	商品名	5						0:不要
⇐	15	数量	6			<input checked="" type="checkbox"/>			0:不要
⇐	17	売上単価	7			<input type="checkbox"/>			0:不要
⇐	18	売上金額(税抜)	8			<input checked="" type="checkbox"/>			0:不要

パターン実行メニューから起動された時の実行画面上での条件指定の有無を指定します。  
※必須が指定された場合は、条件を指定しないと実行ができません。

## 1.3 オプションを指定する

### 基本情報

名称	パターンの名称を指定します。
説明	パターンの説明を指定します。
集約処理	集約処理を行う場合に、チェックします。
連結パターン ID	外部インターフェースを利用して実行する場合のパターン ID を指定します。
読替テーブル名	テーブル定義で指定されているテーブル名と実際のテーブルの物理名が異なる場合に指定します。

### ファイル出力

出力形式	抽出結果の出力形式を指定します。 EXCEL が指定された場合は、実行端末に EXCEL がインストールされている必要があります。 また、EXCEL は 97-2003 互換形式で保存されます。
出力先	出力先のファイル名を指定します。同名のファイルが既に存在する場合は上書きで出力されます。 ※「%USERDIR%」は、「ユーザ登録」-「基本情報」の「出力先フォルダ」で指定されている内容で置き換えて処理されます。
後処理	抽出処理の終了後に実行する処理(バッチファイル名やマクロファイル名など)を指定します。
雛型	抽出処理の前に、ここで指定されたファイルを出力先のファイル名に複写します。抽出結果は、複写されたファイルに対して出力されます。あらかじめ定義した書式、色などを適用したい場合に使用します。
レポート名	レポート名は、CSV出力の場合に、1行目に出力されます。
項目見出しを出力する	項目の見出し(タイトル)を出力する場合に指定します。
シート名	EXCEL 出力の場合のシート名を指定します。指定された名前がない場合は、新規に作成されます。

開始位置	EXCEL 出力の場合に、データの出力開始位置を、行と列番号で指定します。
出力前に書式とデータをクリアする	このオプションが設定されている場合、データの出力前に、指定されたシートを初期化します。初期化はデータだけでなく書式等の情報も対象となります。
出力範囲に罫線を引く	出力したデータの範囲に罫線を引きます。

### 帳票全般

用紙	用紙をデフォルト、A4、B4 から選択します。デフォルトのサイズに関しては、設定によって異なりますので、管理者にご確認ください。
用紙方向	用紙の向きを選択します。
文字サイズ	文字サイズを選択します。
上マージン	上マージンを行数で指定します。
下マージン	下マージンを行数で指定します。
左マージン	左マージンを半角文字の桁数で指定します。
右マージン	右マージンを半角文字の桁数で指定します。
項目間空白	帳票の自動レイアウトを行う際の項目間の余白を、半角文字の桁数で指定します。

### 帳票ヘッダ

帳票 ID を出力する	帳票 ID を出力する場合に指定します。
帳票 ID	帳票 ID を指定します。
オーナー名を出力する	オーナー名を出力する場合に指定します。オーナー名は、ini ファイルの Owner で指定された名前です。
印刷日付を出力する	印刷日付を出力する場合に指定します。
印刷時刻を出力する	印刷時刻を出力する場合に指定します。
頁No.を出力する	頁No.を出力する場合に指定します。
帳票名を出力する	帳票名を出力する場合に指定します。
帳票名	帳票名を指定します。
文字サイズ	帳票名の文字サイズを指定します。
印刷位置	帳票名の印刷位置を選択します。
抽出条件を出力する	抽出条件を出力する場合に指定します。条件は、項目毎に1行出力されます。
項目見出し前の行送り	帳票名(条件を出力する場合は、最後の条件行)と項目見出しの間隔を行数で指定します。
項目見出しの下に罫線を出力する	項目見出しの下に罫線を出力する場合に指定します。
項目見出し後の行送り	項目見出しから明細行までの間隔を行数で指定します。

### 【帳票ヘッダの指定例】

①

②

ID:1234567890 ILS Co. Ltd.

③

④

⑤

2010/09/01 15:33 PAGE: 1

⑥

売上伝票一覧表

⑦

伝票日付:10/01/01~10/01/15

⑦	伝票日付	⑧	伝票番号	行番号	⑨	商品コード	商品名	数量	売上単価	⑩	売上金額(税抜)
10/01/07	20000538	1	K070031	カラーカート	3			380		1,080	
		2	K070019	スリマン(ミニ)	1			224		224	
		3	K070015	タイライトランプ	1			224		224	
		4	K070016	タイライトスリマン	1			224		224	
		5	K070032	HP-ライトアップ	1			580		580	
					7					2,312	

①	帳票 ID	⑥	帳票名 (位置=中央)
②	オーナー名	⑦	条件出力
③	印刷日付	⑧	項目見出し前の行送り (1行)
④	印刷時刻	⑨	項目見出しの下に罫線を出力する
⑤	頁No.	⑩	項目見出し後の行送り (1行)

### ブレイク設定

本画面では、グループインディケーションと小計のオプションを指定します。

項目名	選択されている項目の一覧を表示します。
ソート順	ソート順を表示します。
ブレイクレベル	ブレイクレベルを表示します。
ページ替え	ページ替えを行う際の、ブレイクのレベルを指定します。
表示レベル1～3	それぞれのブレイクレベルで表示する項目を指定します。
全ての計	合計と全てのレベルの小計を出力する項目を指定します。
合計	合計を出力する項目を指定します。
小計レベル1～3	それぞれのブレイクレベルで小計を出力する項目を指定します。

### ブレイク見出し

グループインディケーションは、明細行内での表示／非表示を制御するのに対し、ブレイク見出しは、ブレイクが発生した時に、見出し専用の行を出力します。

ページ替え後の印刷	ブレイク発生時だけではなく、ページ替えが起こった時にも見出し行を印刷するかどうかを指定します。
印刷後行送り	見出し行の後の余白を、行数で指定します。
出力項目／項目見出し	項目の見出しを指定します。
出力項目／レベル1～3	それぞれのブレイクレベルで出力する項目を指定します。

### 【グループインディケーションとブレイク見出し】

ID:1234567890 ILS Co. Ltd.

2010/09/01 15:33 PAGE: 1

売上伝票一覧表

伝票日付:10/01/01~10/01/15

伝票日付	伝票番号	行番号	商品コード	商品名	数量	売上単価	売上金額(税抜)
10/01/01	20004538	1	K070031	グリーンラフト	3	360	1,080
		2	K070019	スノーマン(ミニ)	1	224	224
		3	K070015	ディライトサンタ	1	224	224
		4	K070018	ディライトスノーマン	1	224	224
		5	K070032	ディライトハウス	1	580	580
					7		2,312

グループインディケーション

ブレイク見出し

ID:1234567890 ILS Co. Ltd.

2010/09/02 11:39 PAGE: 1

売上伝票一覧表

伝票日付:10/01/01~10/01/15

伝票番号	行番号	商品コード	商品名	数量	売上単価	売上金額(税抜)
00004017	1	F070004	デブ'ス	1	83,840	83,840
	2	F070011	ナイト'ス'ート	1	92,800	92,800
	3	N010110	コート'ヤ'ク(シングル'ス)	1	5,800	5,800
	4	N010111	コート'ヤ'ク(ダブル'ス)	1	11,200	11,200
	5	N010112	コート'ヤ'ク(スリ'ス)	1	15,200	15,200
	6	N010113	コート'ヤ'ク(フリース)	1	20,800	20,800
	7	N120025	フ'ラン'ター(ダブル'ス、ヒール'ス)	1	3,380	3,380
	8	P180004	フ'リッ'ス'ワイ'レ'ム	1	14,400	14,400
	9	P180008	ダ'イヤ'ント'エ'ラー	1	15,200	15,200
				9		242,400

## ブレイク計

見出	合計／小計行の見出しを指定します。
開始	合計／小計行の見出しの印刷位置を指定します。
罫線	合計／小計行の前に出力する罫線のタイプを指定します。
頁替後に印刷	合計行を新しいページに印刷する場合に指定します。
印刷後行送り	小計の後の余白を、行数で指定します。
合計見出に表示する項目	各ブレイクレベルの見出しに表示する項目を指定します。項目が指定された場合は、「見出」で指定された文字列の後に、指定された項目の内容をカッコで囲んで表示します。 例) 日付合計(2010/01/15)

## 印刷位置

表示順	印刷順序を表示します。
項目名	項目名を表示します。
項目見出し	項目の見出しを指定します。
出力場所	項目が出力される場所を表示します。
強制行位置	項目を出力する行位置を指定します。このオプションが指定されている場合は、計算位置よりも優先されます。また、出力場所が同じで、表示順がこの項目以降の計算位置は、強制位置の結果で再計算されます。
強制桁位置	項目を出力する桁位置を指定します。このオプションが指定されている場合は、計算位置よりも優先されます。また、出力場所が同じで、表示順がこの項目以降の計算位置は、強制位置の結果で再計算されます。
印刷書式	印刷の書式を指定します。書式は、dbMagic/uniPaaS の書式に準拠しています。
IFN	外部プログラムからインターフェース起動する際の項目番号です。条件の設定などに使用します。
折り返し行の開始位置	明細行が複数行にまたがる場合に、2行目以降のインデントを半角文字の桁数で指定します。

## 位置計算

項目の出力位置を自動計算します。

各項目の長さは、書式で指定された項目長と見出しの長さの長い方を採用し、各項目間に「帳票全般」の「項目間空白」オプションで指定された余白を挿入します。印刷位置が、マージンも含めた1行の最大長を超える場合は、次の行に配置されます。

## 実行権限


ユーザグループ毎に実行権限を指定することができます。

ID	ユーザグループの ID
権限グループ名	ユーザグループの名前
バッチ実行許可	インターフェースを使ったバッチ実行を許可します。
パターン実行許可	実行画面からのパターンの実行を許可します。
パターン変更許可	管理画面からのパターンの実行およびパターンの変更を許可します。



## 1.4 抽出結果をファイルに出力する

出力確認(YES,NO)



データ抽出処理を実行します。  
よろしいですか？

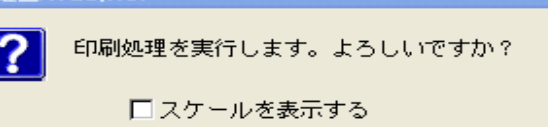
☒ 実行後にEXCELを起動する

☐ 実行後に条件(実行履歴)を保存する

Yes No

パターン管理画面で「ファイル出力(F10)」ボタンを押すと、左の確認画面が表示されます。オプションを指定して「Yes」ボタンを押すと、処理を実行します。

### 1.5 抽出結果を印刷する



印刷確認(YES,NO)

印刷処理を実行します。よろしいですか？

☐ スケールを表示する

☐ プレビューする

☐ プリンタを選択して印刷する

☐ 実行後に条件(実行履歴)を保存する

Yes No

パターン管理画面で「印刷(F9)」ボタンを押すと、左の確認画面が表示されます。オプションを指定して「Yes」ボタンを押すと、処理を実行します。

## スケールを表示する

1行目と2行目にスケールを出力します。帳票をデザインする際にご使用ください。

[illegible]

プレビューする

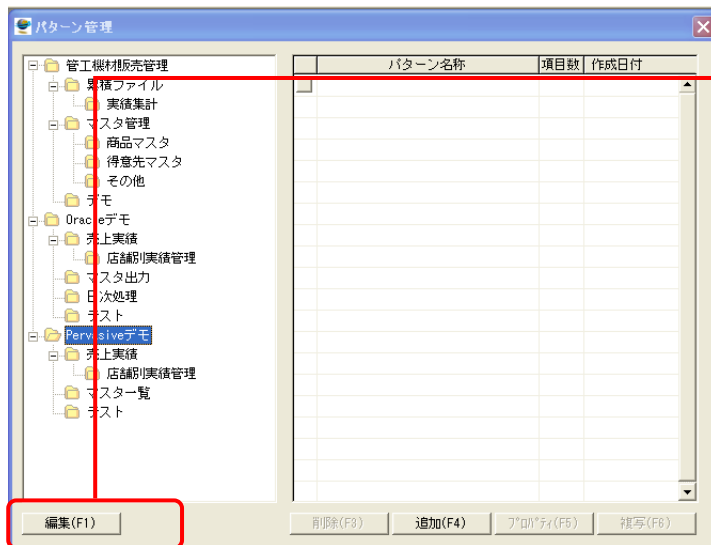
印刷結果をプレビュー画面に表示します。プレビュー画面から印刷することができます。

プリンタを選択して印刷する

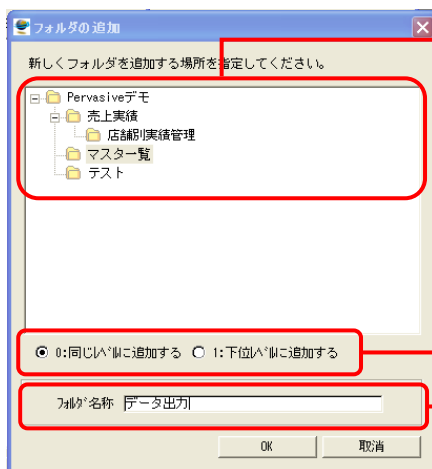
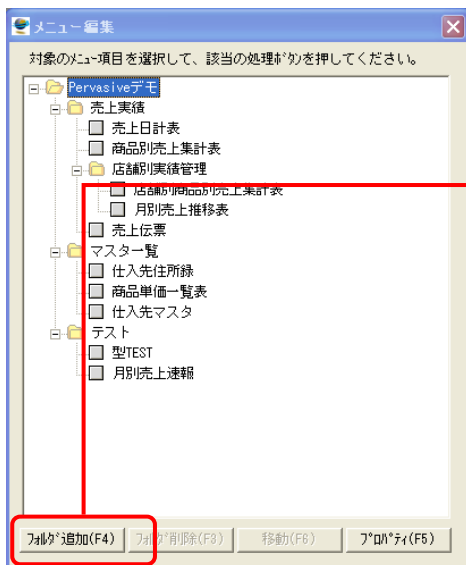
印刷処理を実行する前に、プリンタを選択することができます。

※プリンタ選択画面で「キャンセル」ボタンを押した場合でも、抽出処理は実行されます。

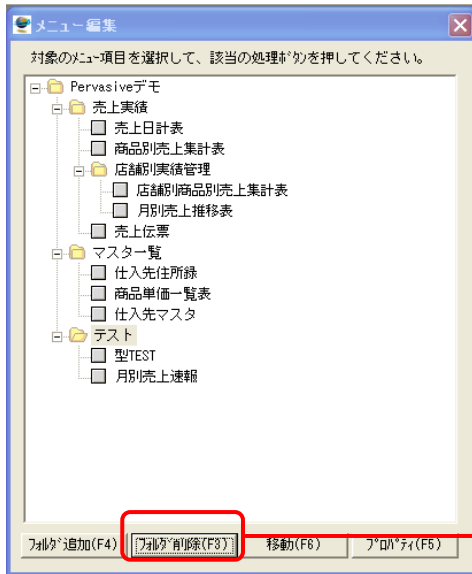
## 2 メニューを編集する



### 2.1 フォルダを作成する

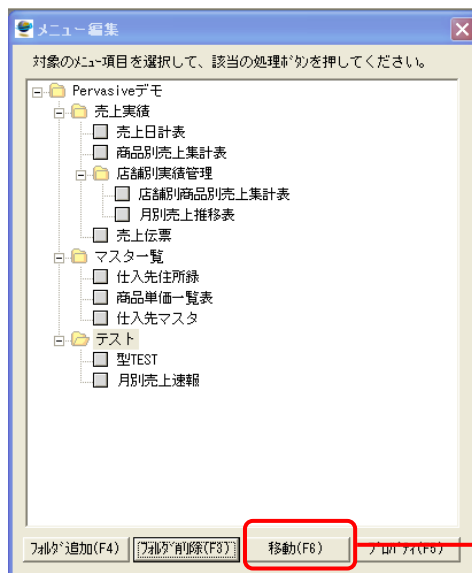


## 2.2 フォルダを削除する

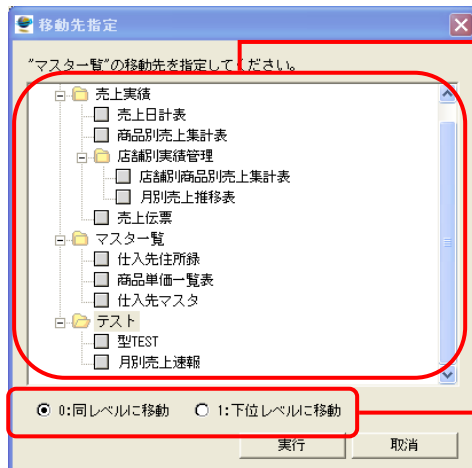


- ① 削除したいフォルダを選択します。
- ② 「フォルダ削除(F3)」を押すと、削除の確認画面が表示されます。
- ③ 「Yes」を選択するとそのフォルダは削除されます。

## 2.2 フォルダ／パターンを移動する



- ② 移動したい項目(フォルダ／パターン)を選択して、「移動(F6)」を押します。

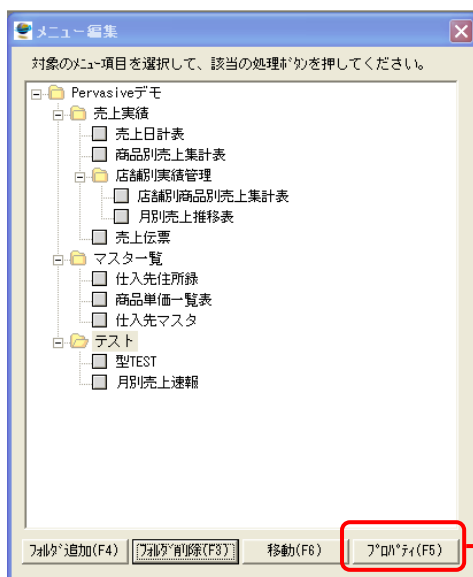


- ③ 移動先の場所を指定します。

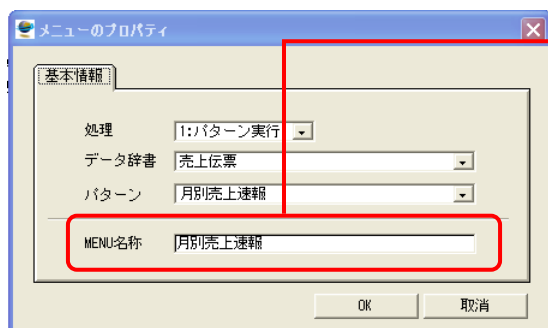
- ④ 移動先の階層を指定します。

※フォルダを、移動前と異なる階層に移動することはできません。

## 2.2 フォルダ／パターンの名称を変更する



① 項目(フォルダ／パターン)を選択して、「プロパティ(F5)」を押します。



② 名称を指定します。